

2 0 1 6

現代用語 THE YEAR BOOK OF THE CONTEMPORARY SOCIETY の 基礎知識

外交、防衛、労働、農林、原子力から、
地震・火山、建築、女子、若者、ゲームまで。
118のジャンルから現代社会の“今”を捉える
日本でたったひとつの新語・新知識年鑑



SINCE
1948
昭和23年創刊

開沼博 42

福島復興

福島イコール原発事故の情報だけでは古すぎる。日々変化している福島。福島が普遍的に抱える問題の先駆例。



高橋哲哉 × 島洋子 36

沖縄基地の県外移設

「本土」の人たちは、いつまで沖縄を犠牲にしたままでののか。日本の米軍基地についての責任は沖縄にはなく、むしろ「本土」にこそある。



44 河崎健一郎 × 栗田暢之 原発避難

いまだ12万人近い人たちが避難している中、この国の「原発」は再稼働され、事故に対する世論の関心は急速に薄らいでゆく



益川敏英 48 科学と平和

そもそも科学者は自分の研究に没頭しているときが一番楽しい。しかし、科学技術には人類を破滅させるほどの負の力が潜んでいる。



50 樋口恵子 貧困高齢者

人生100年社会。「人生の標準サイズ」が変わったのに、それに合わせた政策や生活がとられていない。



井堀利宏 52

アベノミクス

「金融緩和」はある程度目的を達成した。しかし、「積極的な財政政策」は、「財政再建」のためにも、やめたほうがいい。



54 水無田気流 × 常見陽平 女性活躍

無償労働と有償労働を合わせると、日本の女性は労働時間が先進国で一番長い。「会社人間になりながら家庭責任をまっとうせよ」と迫る。



シリーズ
SEALDs
民主主義って



©SHICCI

政治家にならなきゃ、政治を語っちゃいけないの？
選挙のときしか、政治に参加できないの？
おしゃれしてデモをしちゃいけないの？
民主主義って、そんなものだったの？
2015年、この国の根元に揺さぶりをかけた若者たちの言葉を訊く。

— SEALDsの前身のグループがSASPL（特定秘密保護法に反対する学生有志の会）でしたね。奥田さんはSASPLからずっとやって来られて、実際に手ごたえを感じたのはいつごろですか。

奥田 メディアでは、安保法案の抗議デモのときに若者が突然立ち上がった！みたいにいわれましたよね。でも実際はもっと前からです。去年（2014年）の2月に特定秘密保護法に特化してデモをやったとき、500人ぐらい集まって、その時点で圧倒的に若者が多かったですよ。若者が何も考えていないわけではなかったんです。新宿のど真ん中で数百人の若者が「特定秘密保護法反対！」「憲法守れ！」と言いながら歩く光景は、僕自身も不思議な感じで、自分たちでも意思を表現してデモができるんだ、と思った。

最初は「若者は政治に無関心」というカテゴリーから脱したかった。「無関心」と言われてしまったらその時点で発言権がないんですよ。何か変わるんじゃないのか——、デモを

特集
2015年を
忘れないために



戦後70年、安倍談話

村山富市

(聞き手／編集部)

あんなものは、妥協の産物。
だれが、何に対して、謝罪しているのか。
主語を明確にせずに、いったい何を謝罪しているのか。
歴史が経過する中で、「戦後」のとらえ方が揺れ動く。
20年前の「村山談話」の主にご登場いただき、その思いを訊く。

安倍談話と村山談話

戦後70年の節目の今年、8月14日、安倍首相はいわゆる「安倍談話」を発表しました。20年前に「村山談話」を閣議決定した村山元首相としては、どうご覧になりましたか。

村山 もともと安倍さんは「村山談話」を見直したい、できれば否定したいというので、70年談話を自分で出したいと言いついていました。けれど、経過の中で、有識者の意見や国内外からの関心が高まり、「村山談話」を見直したいという自らの見解を表明することが難しくなった。総理個人の談話にしたいという話もあったが、反対が多くて、結局閣議決定で出すことになった。

「安倍談話」は、だれが、何に対して、謝罪しているのか、一般的な言葉に矮小化されていて、主語が明確になっていない。「村山談話」の3倍の長い文章になっているが、妥協の産物で、取り繕うのにずいぶん

特集●2015年を忘れないために

この人たちから聴きたい、このテーマ。



木村草太 18 安保法制

可決された安保法制。喜んだり落胆する前に、まずは法律の中身を確認しよう。これからどうすべきなのか、冷静に分析することが肝要なのです。

10 SEALDs

民主主義って

政治家じゃないと政治を語れないなんて、そんなわけないですよ。政治の言葉を、当たり前のように口にできるような世の中にしたい。



村山富市 22



戦後70年、安倍談話

あれは、妥協の産物。だれが何に対して、謝罪しているのか。歴史が経過する中で、「戦後」の捉え方が揺れ動く。

鳥越俊太郎 14 安倍政治

国民の意識と政治との間に乖離ができてしまった。そうなら国民が声をあげて、行動するしかない。反対の声を、国会に届ける。それが今回の行動です。



重松清×武田砂鉄 24 紋切型の言葉

SNSの中では、「どういう言葉を出せば同意を集められるだろう」という考察ばかり。いつのまにか賛成票が取れる言葉ばかりを投じるようになってしまふ。



藤井敏嗣 34

火山噴火



この100年、大きな噴火をほとんど経験していないが、日本列島は、大噴火がいつ起こってもおかしくない。大噴火にどう備えるか。

30 姜尚中×内田樹 “悪”の時代

システム自体が“悪”に変容してゆくディストピア的な状況下、すでに限界を迎えた資本主義は、どこかで停止させるしかないですよ。





益川敏英

科学と平和

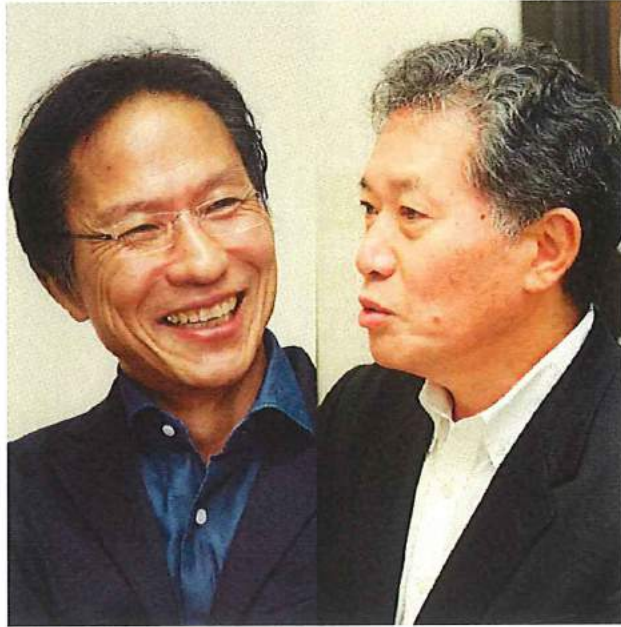
(聞き手/長尾美穂)

「科学者は自分の研究に没頭しているときが一番楽しい。
研究のことだけを考えていたい人種」
しかし、科学技術には人類を破滅させるほどの負の力が潜んでいる。
科学と軍事が密接に結び付いている現代こそ、
科学者は人間としての生き方が問われているのだ。

——戦争体験を教えてください。

益川 私の戦争体験は1945年3月12日の名古屋空襲、5歳のときです。自宅の屋根と2階を突き破って焼夷弾が土間に落ちてきて、目の前をコロコロと転がっていった。驚いて反射的につぶった目をそっと開くと、焼夷弾は転がったまま、爆発しない。たまたま不発弾でした。九死に一生を得た私たちは、家財道具をリヤカーに積み、私はその上にちよこんと乗せられ、火の海となった名古屋の街を逃げまどいました。子どもだった私は命の危険を感じたわけではないが、必死でリヤカーを引きながら走る両親の顔が炎で赤く照らされていたこと、空が不吉なオレンジ色だったことは、いまでも忘れられない記憶として残っています。

戦争問題と記憶が意識的に結び付いていくのは、青年時代にリアルタイムで起こったベトナム戦争です。戦争とはいかに無茶なことをやるのか、戦争という状況がいかに人間を



“悪”の時代 姜尚中 × 内田樹

高度に進展する資本主義が欲望を増殖させ、
経済活動は人間自身の身体から乖離していく。
システム自体が“悪”に変容していくこの状況にどう対処するか、
目前のディストピアの彼方に救いは見つけ出せるのか。
2大論客による、2015年の状況から2016年を見据えた談議。

欲望が自己運動する装置

姜 例えば、消費主義、特に金融資本が悪である。そんなことを言うと、経済学者からお前はバカだと言われかねないですけど……。

内田 お金ってある限界があつて、それを超えた後は買うものがなくなつてしまふんです。あとはお金でお金を買うしかなくなる。株を買つたり金を買つたり石油を買つたりつて、要するに金で金を買つているだけで、生身の人間の暮らしとはもう関係がない。人間は食べるのも1日3食が限界だし、服だつて一度に1着しか着られないし、家だつて一度に1軒しか住めない。経済活動には「身体という限界」がある。身体的欲求をベースにする限り、経済活動は必ずある時点で飽和する。でも、経済成長論者たちは「経済には身体という限界がある」という命題を絶対を受け入れない。だから、あらゆる手立てを使って「身体というリミッター」を解除して、身体限界を超えた欲望の自己増殖をベースにす

日本経済

2015から
2016へ

アベノミクス

金融緩和

TPP

金子 勝

慶應義塾大学教授

かねこ・まさる ● 1952年東京都生まれ。東京大学大学院博士課程修了。著書「反グローバリズム」「脱原発」成長論「原発は不良債権である」「儲かる農業論」ほか。

● 2013年4月に、日銀がデフレ脱却のために異次元の金融緩和を打ち出し、2%の消費者物価上昇率と3%以上の名目GDP成長率を目標に掲げた。しかし、2年半にわたる「アベノミクス」は消費税増税と円安にとりまなう輸入物価の上昇による物価上昇をもたらしただけで、日銀はさらに80兆円の追加金融緩和を決定したものの、15年8月には消費者物価上昇率がついにマイナス0.1%となり、デフレ経済に逆戻りしかけている。

● その中で、法人企業統計でみた企業の内部留保(利益剰余金)は12年度に300兆円を超

え、14年度には約354兆円に達した。配当など株主還元は約13兆円で、純利益の4割に及ぶ一方で、給与支払総額の伸びは鈍く、15年6月まで26カ月連続で、実質賃金の伸び率はマイナスを記録した。雇用も非正規雇用の伸びが大きく、いわゆるトリクルダウンは起きていない。

● アベノミクスが失敗する中で、対外環境は悪化している。15年6月に中国の株バブルが崩壊し、最大の貿易相手国である中国経済が減速しつつある。一方、アメリカのFRB(連邦準備制度理事会)が利上げを実行すれ

ば、新興国経済をさらに低迷させるだろう。

● 日本経済は財政赤字でもたせている状況が続く。だが、国の借金は14年度末に1053兆円とGDPの2倍以上になり、日銀が財政ファイナンスする状況になっている。その結果、15年9月に日銀の国債保有額は310兆円を超え、しだいに出口を失いかけている。

地域に新しい産業と雇用を生み出す産業政策が必要である。自然エネルギー、農業、福祉などの分野を中心にして、ICT(情報通信技術)を利用した地域分散ネットワーク型への産業構造の転換が求められている。

このジャンルの注目

格差

▼ 1997年に本格的にバブルが崩壊して以降、格差と貧困は急速に拡大している。所得順にみた中位の人

半分以下の所得しかない貧困者の割合を示した「相対的貧困率」は、厚生労働省の国民生活基礎調査によると、97年に14.6%から2012年には16.1%になった。生活保護世帯数も増加を続けている。97年に約

63万世帯、受給者数は約91万人だったが、15年5月には約162万世帯、受給者数は約216万人に達している。生活保護世帯は高齢世帯がおよそ半分を占めるが、とりわけ女性の単身高齢世帯の貧困が拡大して

いる。また国税庁の民間給与実態調査統計によれば、年収200万円以下の人数は、97年の約814万人から13年の約1120万人まで増えている。雇用流動化政策を進めたために、派

経済

日本経済

経済理論

財政予算

社会保障

税金

くらしと経済

金融

貿易

労働問題

情報技術

2015から
2016へ

人工知能(AI)

ビッグデータ

クラウドコン
ピューティング

白鳥 敬

サイエンスライター

しらとり・けい●1953年富山県生まれ。成
蹊大学卒。著書「定理と法則105」[単位と記
号]「天気と気象」[科学の偉人伝]ほか。

●2015年から16年へかけての大きなトピックスは、人工知能(AI)、IoT、ロボットだ。人工知能は、グーグルがニューラルネットワークの人工知能DQN(ディープQネットワーク)でブロック崩しゲームを見せただけで攻略法を見つけて出させることに成功した。

●IoTは、モノのインターネットと呼ばれるようにあらゆるモノをインターネットにつながる情報化しようというものだ。収集された膨大なデータを解析すれば、あらゆる分野において、効率・安全・最適化を行うことができる。社会の無駄を低減し、省エネを進める

ことができる。ロボットは、IoTと人工知能の集大成といえる。ニューラルネットワークによる人工知能は、自然言語処理ができるので、人間の声を聞き取り、声の抑揚や高低などのデータをデータベースと照合し、感情まで理解できるようになるだろう。

●ニューラルネットワークは、人間の脳神経細胞を模したものだ。しかも脳神経細胞のシナプス結合の数を超えるといわれている。ニューラルネットワークに入力される情報は、IoTによって入力され、人間が外界から受け取る情報と比べても量・質ともに劣らないような情報を得ることだろう。その結果、自ら情報を得て、自ら判断し、行動できるロボットが、いずれ登場する。16年はまさにその転機となる年といえるだろう。

●一方で、ネガティブな要素もある。人工知能が高度に発達することで、人間の仕事が失われていく可能性がある。また、ホーキングのように人類文明の終焉を予測する学者もいる。

●また、サイバー攻撃を受けた場合、すべてのロボットが造反する可能性もないわけではない。これは、決してSFの世界ではない。

このジャンルの注目

▼IoT (Internet of Things)

モノのインターネットと呼ばれる。インターネットは、パソコンやスマートフォン(スマホ)などあらゆるデ

バイスにIPアドレスを与えてネットワークで情報を共有するが、IoTでは、これをさらに拡張して、あらゆるモノにIPアドレスを付与して、膨大な情報を共有する。以前、ユビキタスといわれたものに近いイ

メージだが、IoTは情報端末だけでなく、あらゆるモノを情報化するのが特徴だ。モノは、衣服など身近にあるありとあらゆるものだ。車にIPアドレスを付与するのはとうに

イヤを情報化することで、路面の情報を収集できるし、ワイパーを情報化することで天候の情報を共有できる。IoTで収集した大量の情報をビッグデータ技術で解析することで、より快適で効率的な社会を構築

高齢社会・介護

2015から
2016へ

健康寿命

終末期医療

男性家族介護

樋口恵子

評論家/東京家政大学名誉教授

ひぐち けいこ ● 東京大学文学部卒。社会保障審議会、男女共同参画会議議員等を歴任。高齢社会をよくする女性の会代表。現在、地域医療・介護総合確保推進会議の構成メンバー。著書「大介護時代を生きる」ほか多数。

●「人生100年社会、大介護時代」が本格化している。2015年9月15日現在、65歳以上高齢者は3384万人、総人口比26・7%と史上最多を更新し、80歳以上が初の1000万人を超え、85歳以上が501万人。この年代になると、女性が70%を占める。90代以上170万人、100歳以上が5万9000人だ。

●「人生100年社会」は確実にその姿を明らかにしている。平均寿命も世界一を争うが、右肩上がり的高齢化伸び率は、他国に大差がついた断トツで、世界にモデルはない。

● PPK(ピンピンコロリ)は、願望であっても現実ほど遠い。生命保険文化センターの調べによれば、平均介護期間は4・9年、10年以上というケースも1割以上。人間は、老いて死に至る前に「介護」という期間を経なければならぬ。性別や役職に関係なく誰もが介護の当事者になる大介護時代。かつて家族によって無償で担われた介護は、質的変化と大量化により、社会で一部負担するようになったのが、介護保険制度である。介護する家族がいることが前提の制度なのだ。

● 近年の「少子化」や50代から急激に進む子世代の「非婚化」によって、介護を担える家族が急激に減少し血縁者がいないという「ファミレス化(family less)」も進んでいる。すでに65歳以上世帯のうち単独者25・6%、夫婦のみ31・1%、老夫婦と未婚の子19・8%、この3類型で全体の4分の3を占める。未婚の子が仕事を辞めて介護に当たれば、無年金者が次世代に送り込まれる。

● この大介護時代の担い手をはじめ、財政出動も真剣に考えないと、大介護対策を誤ることになる。「人間一生の安全保障」を、真剣に考える時期がきている。

このジャンルの注目

▼介護離職

介護のために仕事を辞めなければならぬ状態のこと。2015年9月末、自民党総裁に正式に再選された

安倍晋三首相は、強い経済、子育て支援、社会保障を今後の政権運営の「新3本の矢」と位置づけた。

社会保障では、20年までに「介護離職ゼロ」の数値目標を掲げた。家族の介護・看護を理由に離職・転職し

た人は年間10万1100人(11~12年)、男性は約2割を占める。男性の34%は働き盛りの40~50代だ。男性の介護離職が増えるにつれ、本人の離職後の老後の保障、職場の人材喪失、所得税・社会保険料の公的損

失が認知されてきた。13年には有識者18人が、田村憲久厚生労働大臣(当時)に「介護離職ゼロ作戦」要望書を提出。政府として、仕事と介護の両立を支援する企業に認証マーク(トモニン)を付与、ワークライフバ

くらし

高齢社会・介護

育児

貯蓄・運用

株・証券

消費者問題

食生活

住まい選び

葬送

ファッション

2015から
2016へ

JFW

パーソナル
スタイリスト

東京ガールズ
コレクション

大塚陽子

ファッション・ジャーナリスト

おおつか ようこ ●婦人生活社服飾編集部、「モード・エ・モード」誌編集長を歴任。パリ、ミラノ、東京のコレクション取材を中心に活躍。東京ファッションデザイナー協議会 議長。

●2015年のファッション界ほど明暗がはっきりと分かれた年はない。背景には国際通貨の変化、すなわち円安がある。こうした影響を受けてか、海外ブランドは競って日本国内でイベントを催したり、新シヨップをオープンさせている。クリスチャン・ディオールは六本木の国立新美術館で最新ファッション(15〜16年秋冬コレクション)を披露、エルメスは上野の東京国立博物館で同じく新作(15〜16年秋冬コレクション)を披露した。グッチは14年秋に日本上陸50周年のイベントを大阪の阪急つめだ本店などで開催。いずれも例

年になく華やかな試みで話題を呼んだ。
●一方、国内のアパレル企業をみると、社長交代や事業縮小が目につく。特に注目されたのがワールドとオンワードホールディングスであり、両社はどちらも社長交代にともない、大掛かりな事業改革を打ち出している。ワールドは15年4月に創業家以外からは初の社長として上山健二が就任。同時に全店舗の15%に当たる500店近い直営店をクローズ、15に近いブランドを廃止すると発表し、ファッション業界を震撼させた。今後はインターネット販売に注力し、巻き返しを図ると

いう。オンワードも経済産業省からIT企業を経て入社した保元道宣を社長に、15年6月には総合免税店ラオックスとの合併会社設立を発表。店舗とネットの双方を連携させたオムニチャンネル戦略の強化を図っている。
●両社に 이어るのは、日本独特の「中流の上」を目指した商品が苦戦を強いられているという図式である。海外ブランドの高級志向とファストファッション台頭の波の狭間で方向性を見失ったというのが大きな理由として指摘されている。そのうえ、輸出に頼ることも難しい。今後の巻き返しに期待したい。

このジャンルの注目

▼**コートディガン** [CO-DIGAN]
コート+カーディガンからつくられた造語。大半が打合わせもなく、カーディガンのように気軽に羽織れる

コート(アウター)。2015〜16年秋冬のファッションとして人気を得た。少し長めの丈のものが多く、素材はジャージー、ウール、ダブルフェイス(2枚の布を張り合わせた両面使える生地)など(次頁写真)。

押さえておきたい ファッション

▼**ガウチョパンツ** [gauchopants]
ガウチョとは南米の草原地帯で牧畜

を行うカウボーイのこと。彼らが好んで履いている7分丈の裾がゆつたりとしたパンツのことを呼ぶ。2014年後半ころから再浮上してきたが、15〜16年秋冬はGUのイチオシ商品でもあり爆発的な人気予想さ

文化

本と文芸

哲学

デザイン

現代建築

現代アート

音楽

ファッション

考工学

世相語

2015から
2016へ

●天災は忘れたころにやってくるというが、忘れる暇もないほどに、日本国を載せている日本列島は、揺れたり、ずぶぬれになったり、火を噴いたりしている。この不安定な地球物理学の基盤の上で、人々の世相は薄っぺらに軽く、日々をうつちゃらかしている。静かに浮かれている。

●自分のことに関心が深まっている。海外のことには目をふさぎ、鎖国を夢見ているのではないか。他人のことは見ないことにして、自閉的に完結することを欲求しているのではないか。セルフイーや自撮りは、友だちがい

ないから仕方なくしているわけではない。撮ってもらおうということが面倒だから、一人で撮る。それがうれしいのだ。自分一人ではないのだ。他人は要らない。億劫だから他人は排除する。意識高い系は、言うことだけは言う。タテマエを述べ立てることは得意である。自分以外の他人は、皆、意識が低いと信じている。モラハラも、あまりに自分を信じ込むことから生まれる。他人はレベルが低い。低い他人とは付き合わない。

●自分をどのようにするか、どのような人として自己規定を行うかが、当然のように、いまの主要な関心事である。ぼっち族から始まって、スージョであったり刀剣女子であったりする。イケメソ男子や女子力男子に憧れる。耳つぶや肩ズンを妄想することで、満ち足りてしまう。

●もう少し真つ当な言葉遣いを求められる世界は、ますます悲惨な状態になっている。切れ目のない対応とか戦争法案、希望の同盟など、空虚で意味をもたないナンセンスな言葉が飛び交い、そうして歴史が進行していく。天災よりも先に、人災でこの国は崩壊するのかもしれない。

ゆう活

レッテル貼り

モラハラ

金田一秀穂

杏林大学教授

きんたいち・ひでほ ●1953年東京都生まれ。上智大学卒、東京外国語大学大学院修了。著書「知っていても知らない日本語の謎」「ことばのことばっかし」「気持ちにそぐう言葉たち」など。

意識高い系

▼ミニマリスト

身の回りのものを限りなく減らして「最小限のモノ」だけで暮らす人々

のこと。造語の語源は「最小限」という意味の「ミニマム」。

▼ルーティン

習慣や行動のことだが、例えばラグビー日本代表の五郎丸歩は、ゴールキックを狙うときにボールの位置を

決めた後、必ず同じ動作でキックに入る(五郎丸ポーズ)。大リーグのイチローもバッターボックスに入ってから、同じ準備動作でバットを構える。同じ動作(ルーティン)を必ずすることで集中力と自信を高める。

▼こんまり

整理整頓のプロ「片づけコンサルタント」を自称している近藤麻理恵、その愛称が「こんまり」。著書「人生がときめく片づけの魔法」が海外でもベストセラーになり、彼女はア

時代・流行

世相語

時代観察

言葉時評

流行観測

世相・発言

女子

美容

日本語事情

若者